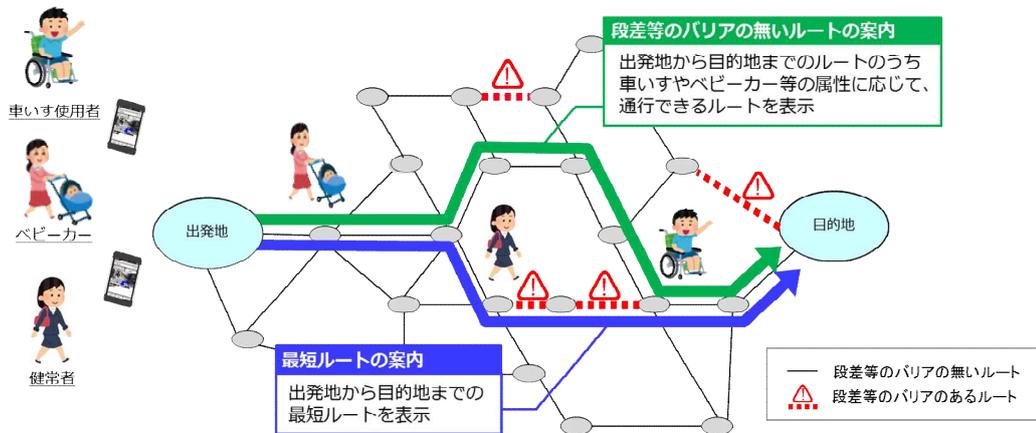


バリアフリー・ナビプロジェクトとは？

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向け、高齢者や障がい者等も含め、誰もが移動しやすい社会の実現に向け、ICTを活用した歩行者移動支援サービス※の普及展開（バリアフリー・ナビプロジェクト）に取り組んでいます。

例えば、車いす利用者に対し、段差等のバリアのないルート案内を案内することのできるナビゲーション等、利用者ニーズに応じた移動支援サービスの実現を目標とし、オープンデータの考え方を取り入れた、サービス実現のための環境づくりを進めています。



※ICTを活用した歩行者移動支援サービスとは、人のスムーズな移動や活動等に必要となる施設や経路等に関する情報を、スマートフォンやタブレット等の携帯情報端末等から入手することにより、個々人の身体的特性や移動シーンに応じた支援を行うサービスです。

歩行者移動支援サービスの実現に向けて

統一基準でのデータ整備

「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」を策定。統一的なデータ作成フォーマットを示す。

「歩行空間ネットワークデータ整備ツール」を作成・提供。データ整備を容易に行うことが可能。

オープンデータ化・蓄積

オープンデータによる公開。誰もが自由にデータを活用できる環境を整備。

<将来イメージ>

オープンデータを活用し、民間事業者等が多様なサービスを展開。

歩行者移動支援サービスの提供にあたっては、歩行空間における歩道等の形状、幅員、段差、こう配等や、移動中に利用される施設のバリアフリー設備等の情報が必要です。また、それらの情報を機械判読可能な形式でデータ化し、オープンデータとして公開することにより、誰もが自由にその情報を活用することが可能となり、多様なサービスの提供につながります。

これまで国土交通省では、データ整備やオープンデータ化の推進のため「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」の策定やオープンデータサイトの開設等に取り組んできましたが、オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスを全国的に展開していくためには、データ整備やオープンデータ化の点で市区町村の役割がよりいっそう重要になってきています。

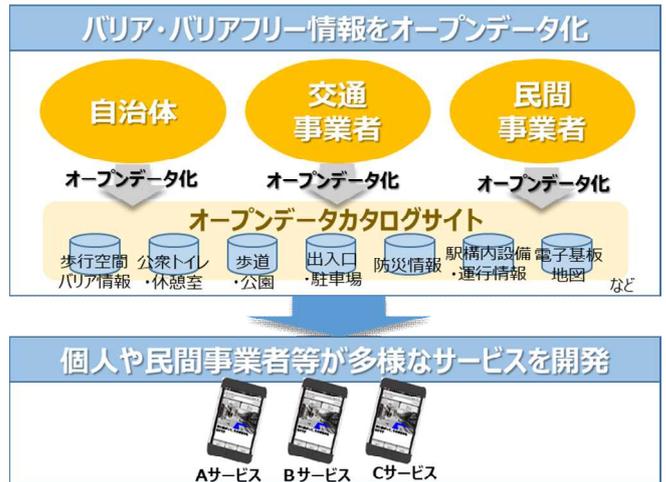


Q バリア・バリアフリー情報等をオープンデータとして公開すると、どのようなメリットがありますか？

A 一つ目のメリットとして、個人や民間事業者等が自由にデータを手し、ニーズに応じた多様なサービス（スマホアプリ等）を開発・提供することが可能になることがあげられます。



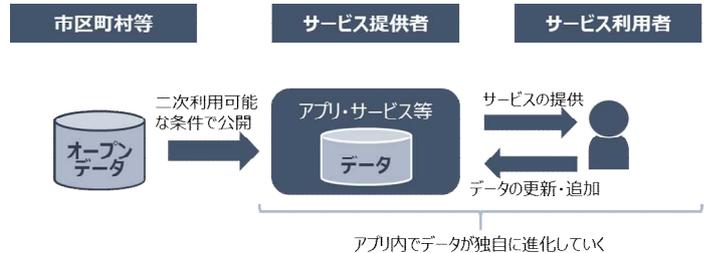
高齢者や障がい者のほか、ベビーカーの利用者や外国人など、歩行者移動支援を必要とする方々のニーズは多岐にわたります。地方公共団体等が所有している移動に有用な情報をオープンデータとして公開することにより、個人や民間事業者、NPO等が、身体的特性やニーズに応じた多様なサービスを自由に開発することが可能になります。これにより、歩行者移動支援等のきめの細かいサービスが提供されることが期待できます。同時に、民間事業者等にとっても新たなビジネスの機会が増えるため、地域経済の活性化にも寄与します。



A 二つ目のメリットとしては、地方公共団体が公開したデータがサービスの提供者や利用者により追加・更新され、より充実したデータが提供されるようになることが期待できます。



データを二次利用可能な条件で公開すると、アプリの開発者や利用者はそのデータを利用するだけでなく、不足する情報を追加したり、最新の情報に更新することができるようになります。これにより、アプリの開発者等は、独自にデータを充実させることができ、より高いレベルのサービスが住民等に提供されます。



【参考資料】「二次利用の促進のための府省のデータ公開に関する基本的考え方（ガイドライン）」
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/dai52/kihon.pdf>

【事例】 WheelLog！ × 町田市オープンデータ

WheelLog！は、アプリの利用者が車いすで通れる道やバリアフリー対応施設の情報を投稿し、みんなでバリアフリーマップを作るアプリです。このアプリを提供している一般社団法人WheelLogは、町田市のオープンデータを利用し、街歩きイベントを開催しました。このイベントでは、オープンデータには含まれていないトイレの写真を撮影したほか、トイレ等の施設について利用者が気づいた情報を共有し、より充実した情報が作成されました。

地方公共団体等が公開する基本的なデータを基に、アプリの利用者等がデータを更新し、より充実した情報を作り上げた事例として注目されます。





Q オープンデータはどのように利用されていますか。

A ナビゲーションやトイレ検索のアプリなどで活用されているほか、公共交通機関が提供するデータと組み合わせたサービスも提供されています。



公開されるオープンデータが増えるにつれ、それを利用するアプリの数も増えています。また、地方公共団体が公開するオープンデータだけでなく、公共交通機関等が公開するオープンデータを利用した取り組みも行われており、さらには複数のオープンデータを組合わせたサービスも提供されています。高齢者や障がい者だけでなく、外国人を想定したサービスも開発されており、駅の方向やバス停の場所をARでナビゲーションするアプリなどが提供されています。

ココシルこまえ バリアフリーナビ	オストメイトナビ
高齢者、障がい者、ベビーカー利用者などのニーズに応じた最適なバリアフリールートナビゲーションします。	全国のオストメイト対応トイレを検索することができます。



A オープンデータは、個人や企業等がサービス開発のために利用するだけでなく、庁内の業務でも活用することができます。



庁内での活用事例として、例えば道路の現状（段差等）を見える化し、改修等を検討する際に利用することが考えられます。また、障がい者スポーツのイベント開催にあたり、周辺のトイレ情報を整理・公開する

などの目的でも利用することができます。庁内のデータをオープンデータとして公開することにより、他の部署でもデータを利用しやすくなり、イベント等において部署横断的に情報を利用できるようになります。



Q バリア・バリアフリーデータを収集・公開するにあたり、最初にやるべきことは何でしょうか？

A まずは、地域の課題やニーズをもとに目的を定めることから始めます。それにより、優先して収集すべきデータや地域が明確になり、データの整備に効率的に取り組むことができます。



オープンデータ活用の流れ

- 1 企画立案
- 2 データ収集・作成・メンテナンス
- 3 データの公開
- 4 データを活用したサービス提供

国土交通省では、市区町村等が取組を進める際の手順や考え方を解説した「オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組に関するガイドライン」を公開しています。

バリアフリーマップの作製やオープンデータとしての公開を検討される際は、ご参考にしてください。

【参考資料】「オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組に関するガイドライン」

<http://www.mlit.go.jp/common/001244376.pdf>



Q バリア・バリアフリーデータとして、どのようなデータを収集したらよいでしょうか

A 「施設データ」と「歩行空間ネットワークデータ」が収集の対象になります。庁内で既にデータが整備されているケースもあるため、まずは庁内のデータを棚卸してみてください。



■ 整備するデータ

データの種類	内容
施設データ	施設の名称や位置などに加え、トイレやエレベーター、身障者用駐車場の有無等のバリアフリー設備の整備状況の情報を持ったデータです。利用者のニーズに応じた施設・設備の検索や案内に利用できます。
歩行空間ネットワークデータ	歩道の段差や勾配等のバリア情報を含んだ経路の位置や状況を表すデータです。車いす使用者や視覚障害者等を対象とした経路案内を行う場合に必要となります。



【参考資料】「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」
<http://www.mlit.go.jp/common/001244374.pdf>



Q バリア・バリアフリーデータを効率的に収集・整備する方法はありますか？

A 先進的に取り組んでいる地方公共団体では、データ収集・整備のためのツール、庁内の連携、NPO等との協業などを工夫し、情報収集を行っています。



効率的なデータ収集・整備に取り組んでいる地方公共団体の事例

- 民間（商業）施設を調査するにあたり、初回の依頼は紙で行い、回答はWebフォームを通じ受け付ける。施設の状況に変更がないかを確認する2回目以降の照会は、登録してもらったメールアドレスに送付する。
- Webサイトや業務システム、GISなどに、自動的にオープンデータを出力する機能を付加する。
- 道路など庁内の管理部局から、定期的に情報提供してもらう体制を構築している。
- 地域のNPOなどと協力し、情報収集イベントを開催したり、各団体の業務の途中でデータを収集してもらっている。

なお、国土交通省では、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報をデータ化した「歩行空間ネットワークデータ」を作成できるWebツールを無償で提供しています。

【データ整備ツール】 歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000041.html

▶ もっと詳しく知りたい方は「バリアフリー・ナビプロジェクト」で検索 🔍